

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年6月12日

【評価実施概要】

事業所番号	1170600777
法人名	株式会社ウェルフェアシステム
事業所名	グループホームふじの花
所在地	〒344-0066 埼玉県春日部市豊町1-2-40 (電話) 048-753-0267

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年5月29日

【情報提供票より】(平成20年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 10人, 非常勤 5人, 常勤換算	13.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての2階～3階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	50,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (120,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり1,330円			

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	68 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さいたま記念病院、春野クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、春日部市郊外の住宅街に囲まれた比較的静かな地域に位置している。建物は3階建てで、1階がデイサービス、2階と3階がグループホームになっている。ホームの特徴としては、常に利用者のペースに生活を合わせていること、また、家族との関わりを大切にしていることであり、毎月の報告や家族からの意見、苦情などを運営に反映されるように配慮している。介護計画では、担当者会議を充実させ、職員間の申し送りノートなどを活用して意思疎通を卒のないようにしている。介護サービスの向上に向けて、更なる改善が期待できるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で指摘された点については、職員全体の会議で話し合い、改善に向けて努めている。その結果、鍵の件については玄関を除き、施錠することがないように取り組んでいる。また、外部評価の結果を玄関入り口に置き、閲覧できるように配慮している。なお、運営推進会議にも報告する予定である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、職員全体で話し合っているが、具体的に職員個々で記載してはいない。なお、今回の外部評価については、運営推進会議などで報告することとしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、2ヶ月に1度ではないが逐次開催されている。会議では、ホームでの行事報告、防災訓練への取り組みに関する事、食中毒予防などにおける衛生管理のことなどが話し合われている。また、外部評価の結果についても報告し話し合っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族からの意見や苦情を受け入れるように努めている。毎月の報告時に、意見等を書き込めるように配慮しているほか、意見箱を設置している。寄せられた意見等は、運営に反映出来るよう前向きに検討して対処されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の一員として自治会には加入しており、地域のごみ拾いなど美化活動には参加しているが、地域で行われる行事への積極的な参加までには至っていない。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げている。しかし、地域との関わりや地域密着型サービスとしての理念が作られていない。		地域との関わりを深めていくことで、地域密着型としての理念を上げることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体の職員会議で理念について話し合っている。また、日頃より理念の実践に向けて、利用者に合わせて介護サービスの提供に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として、自治会には加入している。地域のごみ拾いなど美化活動には参加しているものの、地域で行われる行事への参加までには至っていない。		できるだけ地域の行事に参加することで、地域の方々との交流を深めていき、積極的に取り組んでいくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果は、玄関に家族等が見やすいように置かれている。指摘された鍵の件は、職員間で協議し改善に向けて努めている。今回の外部評価については、運営推進会議などで報告することになっている。なお、自己評価の記入にあたり、全体の職員会議で話し合っている。		ケアの見直しや振り返りをする中で、質の高いよりよいサービスの提供にも結びつくため、自己評価については、職員全員が関わりを持てるよう取り組むことが望まれる。評価を活用して具体的な改善に活かすことを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に1度ではないが逐次開催されている。会議では、防災訓練への取り組みや衛生面での管理、外部評価などの結果報告などについて話し合われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、部屋の空き状況の問い合わせがあった時に伝えている。なお、地域の中学生職場体験実習の受け入れなどで協力しており、市町村との連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の暮らしぶりを「ふじの花だより」で毎月報告しているほか、担当職員から3か月に1度のペースで手紙形式にしてお知らせしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先には、意見箱が置かれているほか、毎月のお手紙で家族から意見や要望があれば記入してもらうようにしている。駐車場に関する意見が寄せられて家族用の駐車スペースをつくったこともあり、意見を反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職については、昨年8月以降から少なくなった。ホーム内の異動については、ダメージを与えないように配慮している。また、職員が仕事でストレスを貯めることのないように努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会が確保されており、働きながら学べるように取り組んでいる。最近では、作業療法士の研修に職員が参加している。		職員が段階に応じて研修が受けられるように、定期的な研修を計画していくことで、職員の質の向上に活かされることを期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の他のグループホームとの交流はまだできていないが、今年7月に市主催のグループホーム交流会には参加する意向である。これを期に、ネットワークづくりや相互訪問等を通じ、サービスの質の向上に取り組もうとしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居される前に、遊び感覚で気軽に来てもらい、ホーム内の雰囲気に馴染んでもらうよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にしていくように努めている。利用者がこれまでの人生の話をされた時など、話を聞き理解しようしたり、職員も励まされたりすることがある。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の一人ひとりの思い、例えば故郷に帰りたい気持ちがあれば家族と連絡をとるなど、本人の意向がかなうように努めている。意向の把握のため、家族にお願いして、利用者本人へ手紙を書いてもらうなどの工夫もされている。		
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人、家族などの関係者と話し合い、介護計画には希望や思いを取り入れるように努め、担当者会議を通じて、介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	概ね3か月ごとに介護計画の見直しをしている。入院されて退院時など、状態に変化が生じた場合は、それに即して現状に即した介護計画を作成するように努めている。また、日々の状況を細かく把握できるように申し送りノートを活用するなどしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が受診に対応できないときは職員が付き添うなど、状況や要望に応じた支援をしている。また、利用者の馴染みの理髪店や美容院に来てもらえなくなった際は、本人や家族の了解を得て、ホームの職員が理髪することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居する前からのかかりつけ医は、入居後も受診できるように配慮している。家族が受診に対応できない場合は、職員が付き添うなどして支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホーム運営母体の会社で作成した重度化の指針があり、これに基づいてできるだけ対応はするように努めている。終末期に向けては、常時医学的処置が必要となるため困難ではあるが、対応が可能であれば、ホーム内での看取りをする方向である。なお、家族や協力医療機関とも連絡を取り合い相談していくことにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は、プライバシーを損ねることのないようスタッフルームに保管している。また、一人ひとりの誇りを損ねることのないように、失禁時などは利用者の居室にて交換等している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に声を掛けてお誘いしても拒否があれば無理強いはいしない。本人が望んでいる生活を送れるように利用者本位で支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に同じ食事を食べている。食事の時間や場所は強制せず、食堂等で食べたくないときには、居室で食べることもできるようにしている。		食事は暮らしの中でも重要な場面である。利用者の力を活かしながら、本人の意思や気持ちを引き出すためにも、利用者と職員と一緒に食事の準備等を行うなど、利用者が関わりを持てるような工夫が望まれる。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴の準備をし、利用者一人ひとりがゆっくりと入れるように配慮している。夜間の入浴については検討中である。また、併設しているデイサービスの入浴室の活用も今後検討する方向である。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、食後のテーブル拭き、洗濯物を干したり畳んでもらうことや、職員と一緒にゴミ出しに行ってもらうなどして、楽しみごとや役割をもてる支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候がよければほぼ毎日散歩に出かけたり、月に2回ほど買い物に出かけることにしている。出来る限り希望にそって外出できるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回の外部評価で指摘され、改善に向けて取り組んでおり、ホーム内の浴室や洗濯室の鍵は外す方向で話している。玄関については、無断外出やこれによる事故が不安との理由から鍵を掛けている。		1階がデイサービスとの併用になっていることもあり、工夫をすることで、鍵をかけずに安全に過ごせるようなケアの実践ができないか検討されることを期待したい。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力や指導を受けて、避難訓練を行っている。近隣の方々の協力が得られるような取り組みはされてはいない。緊急時の対応マニュアルを作成して、活かせるように努めている。		災害時には、通報や避難等で地域の人々の協力は欠かせないため、運営推進会議の席でお願いするなどして、地域の協力体制を築いていけるよう連携を図っていくことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や水分量は、チェックされている。また、栄養バランスが取れているか栄養士に確認するようにしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、不快な音がしないよう生活感や季節感を採り入れて、居心地良いうように配慮されている。比較的ゆったりとしたスペースが印象的である。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室は、使い慣れた馴染みの物を持ち込めるように配慮されている。また、洗面台が各部屋に取り付けられているほか、防災面でも配慮されている。</p>		